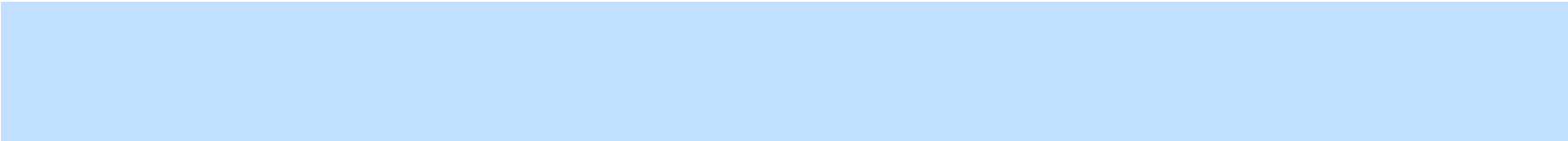




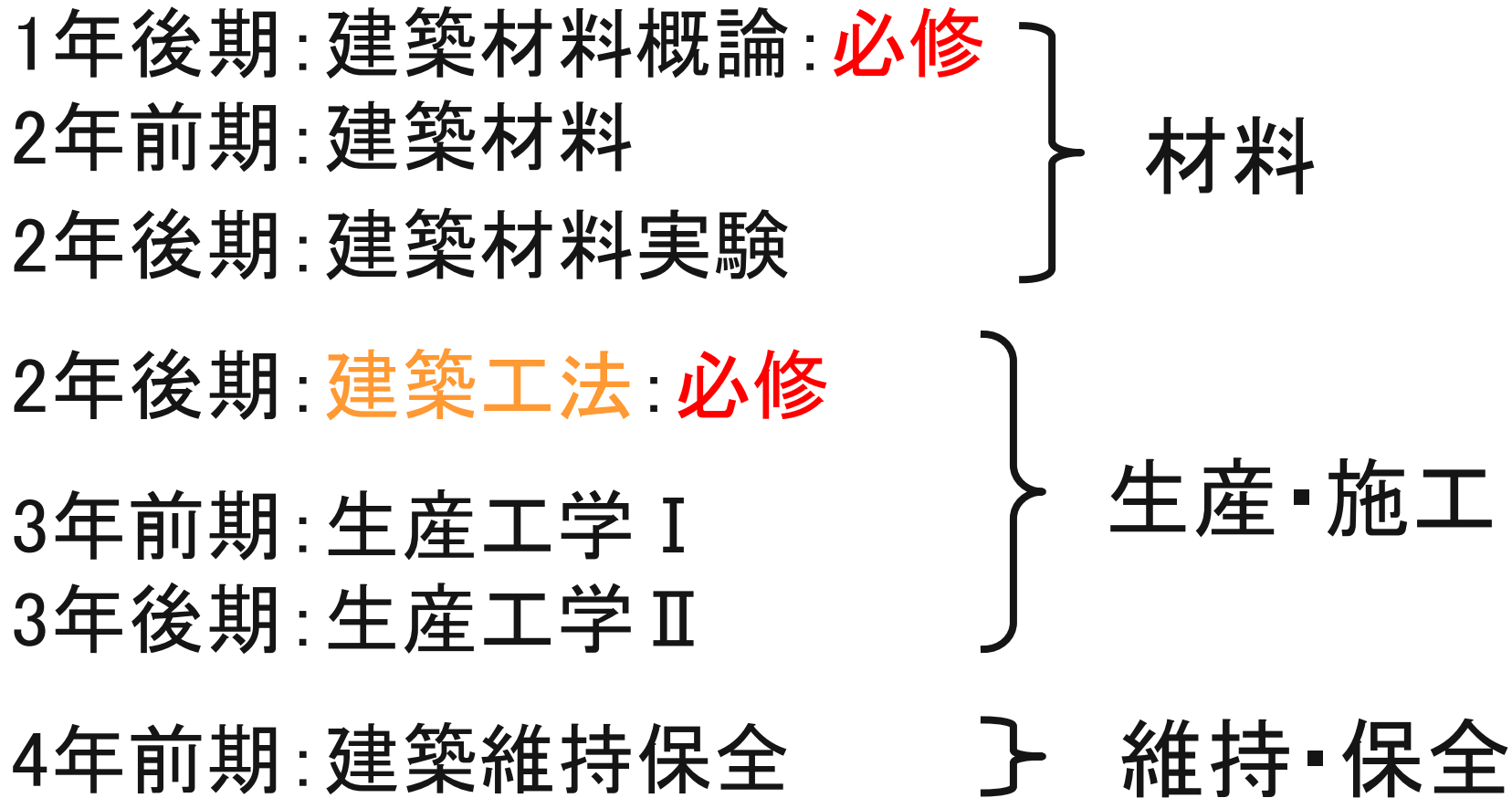
建築工法



第1回 講義の概要

建築学科 平岩 陸

建築材料・生産科目の講義の流れ



なぜ生産・施工を学ぶのか？

建物を**実際に作る**のは、この分野

施工者：品質、予算、工期、安全、環境を
守りつつ**どうやって作る**か？

設計者：この設計は**作れる**か？

●そのための知識として

- **施工方法**を知る
- + **建設業界**について知る

必要がある。

建築工法の内容

一級建築士、二級建築士試験の 「施工」分野の内容

他にも資格としては、
建築施工管理技士というものもある

一定規模以上の建築現場：
建築士もしくは
建築施工管理技士の常駐が必要

建築士試験

・ 学科試験：択一試験

合格率15～20%程度

一級建築士
四択

計画	20問	}	2時間
環境・設備	20問		
法規	30問	}	: 1時間45分
構造	30問		
施工	25問		
			2時間45分

125点満点

二級建築士
五択

計画	25問	}	3時間
法規	25問		
構造	25問	}	3時間
施工	25問		

100点満点

建築工法シラバス

授業の概要と目的

建築生産の概要と実際の各工事の概略

を理解する

総論：建築生産の概要、
施工計画・管理について

各論：建築生産における各工事について
(仮設工事、地下工事、躯体工事、外部・
内部仕上げ工事)

到達目標

建築技術者に必要な
建築生産の概略について理解する。

授業内容-総論

- 1 総論：講義の概要、建築生産現場の例
- 2 建築生産概論：各種構造、建築物の一生
- 3 設計から着工まで1
：設計、積算、請負契約
- 4 設計から着工まで2
：施工計画と管理
- 5 仮設工事：
事前調査、測量、仮設構造物、足場、
災害防止設備、揚重機械

授業内容2

地下工事

6 地下工事1 : 山工事の種類と概要

7 地下工事2 : 基礎・地業工事の種類と概要

くたい 躯体工事

8 躯体工事1 : 型枠工事の概要と工事の流れ

9 躯体工事2 : 鉄筋工事の概要と工事の流れ

10 躯体工事3 : コンクリート工事の概要と
工事の流れ

11 躯体工事4 : 鉄骨工事の概要と工事の流れ

授業内容3

仕上げ工事

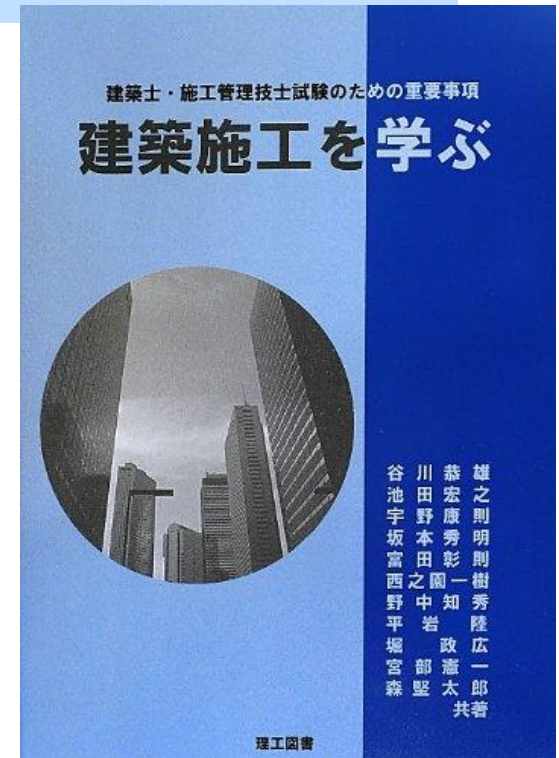
- 12 仕上げ工事総論
: 仕上げ工事の概要・注意点
 - 13 外部仕上げ工事
: 外装工事の概要と施工法
 - 14 内部仕上げ工事
: 内装工事の概要と施工法
-
- 15 完成後
: 竣工後から解体までの概要

その他

テキスト：建築施工を学ぶ

定期試験： 記述試験80点
マークシート20点

マークシートの問題：
授業の最後に出す問題の中から5問



マークシート問題の例：施工1

次の記述のうち、建築士が通常行う工事監理業務に該当しないものはどれか。

1. 工事完了検査を行い、契約条件が遂行されたことを確認した。
2. 建築設備の機械器具を設計図書に照らして検討し、承諾した。
3. 設計図書のとおり工事を実施するように、施工者に指示した。
4. 設計意図を正確に伝えるため、説明図を作成し、施工者に説明した。
5. 工事の着手に先立ち、実施工程表を作成した。

成績評価方法および評価基準

- 定期試験：70%

- 小テスト：30%

100点満点とし、60点以上を合格とする

小テストについて：

講義終了時に次週に行う旨を指示する

次週ここまでの小テストをします

(例)

- 建築生産の流れ
- 建築士の業務
- 建築業の生産構造

について、復習しておいて下さい。